



アーティスト  
伊藤 園子さん

<https://sites.google.com/site/yitengyuanzi>  
※ホームページでポメリー界の地図を見ることができます  
E-mail pomeri-town@ray.ocn.ne.jp



「デザーティアタウン」に存在するケーキの灯台『ポメリーケーキ』  
(2010年制作、高さ175cm)

ゴ。『ポメリー』とは、「リンゴ」に顔がある2本足の生き物」のこと。そんな不思議な世界で現代美術のアーティスト、伊藤園子さんが描く仮想の物語が繰り広げられている。

『ドクロ人間(46ページ写真左端)は、自身が経験した孤独から生まれた。胸の裂け目は木の割れ目そのまま。材料である樟の自然の「味」をなるべく生かして彫刻にする。リンゴをモチーフに選ぶ理由の一つは「形に魅力を感じるから」と話す。

生き物の表情を見渡すと、それぞれに何かを語りかけてくる。ほほ笑みを浮かべる者、宙を見詰める者、ドクロになった者

「ポメリー界」と名付けられたその世界は、真つ青な海に浮かぶリンゴ型の二つの島からなる。島の形だけではない。街や駅、そこに住む生き物たち、建物の窓やサンダルまでもがリン

ゴ。これらは単なる「空想の産物」ではない。自らの気持ちを作品の表情や物語に反映させている。独自の創作活動を始めたきっかけは「作品を生み出すことで自分の悩みや苦しみを昇華しょうかするため」だった。そこから自身の世界を深め、いかに広げていくか。ポメリー界は変幻自在な世界。「私自身、作品と一緒に成長していきたい」。ポメリー界にあるポメリータウンは、実は生まれ育った秋田県がモチーフ。ほかにも秋田ゆかりの場所が多数登場する。

独自の世界を深めるために木彫だけでなくとどまらず、絵画やファッション、音楽、舞台活動などさまざまなパフォーマンスに挑み続ける伊藤さん。

現実世界とともに、もう一つの創造世界が、今この瞬間も動いている。



『りんご部屋の仲間達』部分/樟に油絵の具で着色  
(2012年制作)

## もう一つの 世界に描く物語

くす樟の木を彫って着彩して仕上げる個性たっぷりの生き物たち。かわいらしさとユーモアと、切なさを漂わせる。そこに、不思議な世界の入り口があった。

現代アート



ポメリータウンの住人たち。それぞれに名前やキャラクター、物語がある。  
『ポメリー』とはフランス語でリンゴを意味する「pomme(ポム)」から創作した名称。